

2019 **2.1**
平成31年

議会から こんにちは



12月3日に新築された田沼西中学校の体育館において、オリンピック・パラリンピック教育推進事業の一環として、プロバスケットボールチーム・BREX.EXE所属の齊藤洋介さんと同校の生徒との交流会が行われ、オリンピック正式種目となった3人制バスケットボールについて学びました。

平成30年12月定例会

■一般質問に17人が登壇

▼佐野市議会の様子をライブ中継と録画により映像配信しています。

さの
市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

佐野市議会

検索



佐野市議会スマート中継

検索





横田 誠 議員(新風)

質問方式
一問一答人口減少時代の
まちづくりについて

Q 地方創生の改定により、*KPI(ケーピーアイ)の中に地域運営組織の形成、3,000団体を目指すに掲げられている。人口減少や高齢化が著しい中山間地域において、地域運営組織が生まれ育った地域で暮らしたいという希望を実現するために欠かせないサービスを提供する役割を果たす組織として期待できるが、市はどのように対応していく考えか。

A 行政経営部長

本市には、地域運営組織に似通った活動をしている組織がそれぞれの地域の課題解決に向け自ら組織した組織として、例えば吾妻地区、三好地区、野上地区、新合地区などにあります。今後は、地域運営組織を把握するため、いろいろな地域での活動内容を検討しながら、情報収集に努めていきたいと考えています。

その他の質問

☆住民票等証明書のコンビニ交付の導入について

※KPI(ケーピーアイ)・・・
key performance indicator
の略。組織やチームで設定した最終的な目標を達成するための、過程を計測・評価する中間指標のこと。



高橋 功 議員(蒼生会)

質問方式
一問一答自転車活用の推進
について

Q 佐野市は合併して大変大きく、観光客に限らず、市民の皆様でも訪れたことのない自然や歴史等、魅力のある観光資源がたくさんある。そこで、各地区の魅力を紹介するサイクリングコースのマップを作成することにより、市民の皆様身近な観光資源を体験していただき、観光客の皆様には、佐野市の新たな観光ツールとして活用してもらうというところで、市民や観光客に身近に使用してもらえるサイクリングマップを作成すべきと思うが、いかがか。

A 観光スポーツ部長

栃木市をはじめ、先進地のサイクリングマップを参考にし、また、既存のマップ等の活用なども視野に入れまして、今後検討をしていきたいと考えています。

その他の質問

☆鳥獣被害対策と観光活用について
☆安全・安心のまちづくりについて



金子 保利 議員

質問方式
一問一答

防災井戸について

Q 民間所有の井戸を活用して、災害時協力井戸として登録していただき、有事に備えるべきと考えるが、いかがか。また、補助金の交付について、当局の見解を伺いたい。

A 行政経営部長

大規模な地震等の災害発生時には、民間所有の井戸の活用は大変効果があり、各町会や自主防災会など地域ごとに井戸を把握し、有事に備えることの必要性を周知していきたいと考えています。地域で把握した井戸を台帳等により管理することで、地域防災力を支援できるような協力体制を築いていきたいと考えています。

その他の質問

☆市職員の任用について
☆災害時における「水」の確保について

防災、減災を推し進めるには、自助、共助、公助の連携が必要不可欠です。災害時の共助において、地域で生活用水を確保するため、町会や自主防災会などが主体とした防災井戸の新設や既存井戸の設置状況の把握など、地域ごとの現状を踏まえた支援の方法を今後研究していきます。

横井 帝之議員(新風)

質問方式
一問一答子どもの安心・安全な
登下校環境について

Q 平成30年9月6日に文部科学省から児童生徒の携行品に係る配慮についての通知が出されたが、いわゆる置き勉の容認に当たるものと考ええる。この問題の背景としては、小学校の学習指導要領の内容が変更になったことを受け、40年前から比べると、重さは8割も増えており、児童生徒の健康被害も出ている状況と聞いているが、各学校での具体的な対応策を伺いたい。

A 教育長

学校に置いていくものと持ち帰らなければならぬものを学校ごとに決めて、子どもたちに指導しています。今回の文部科学省の通知を受け、改めて携行品の検討を行い、さらなる負担軽減に向けた改善策を打ち出し、児童生徒をはじめ、保護者に対しても周知徹底を図っています。

その他の質問

☆子どもの貧困対策について
☆犬猫不妊・去勢手術費用助成金制度設置の検討状況について



早川 貴光議員

質問方式
一問一答佐野市の学童保育
について

Q 地方分権改革の有識者会議は、放課後児童支援員の資格と配置基準を、子どもの安全性の確保等一定の質の担保をしつつ、地域の実情等を踏まえた柔軟な対応ができるよう参酌化することを表明し、政府はこのことを閣議決定する予定だが、本市は、学童保育の質の確保に関してどのような対応をとっていくのか。

A ことも福祉部長

本市は、条例において国の基準に従い、支援の単位ごとに放課後児童支援員を2名以上配置し、うち1人を除き補助員をもって代えることができるとしています。また、こどもクラブの設置を拡大しているところでもあり、放課後児童支援員の有資格者の確保は大変厳しい状況ですが、従事する者を1人でもよいとすることは考えにくいいため、現在の基準を維持していきたいと考えています。

その他の質問

☆市職員の安全衛生について



久保 貴洋議員(蒼生会)

質問方式
一問一答1級河川(閑馬川、
彦間川)の整備に
ついて

Q 閑馬川、彦間川の整備についての見解を伺いたい。

A 都市建設部長

年度当初に安足土木事務所や地元関係者と現地を確認し、複数の箇所河床の洗掘や土砂の堆積等が見られました。現在、閑馬川の木戸橋前後の雑木の伐採や落差工の修繕、河床の整形を実施しています。今後は、閑馬川へ流入している金原西沢の浚渫や春高橋下流の竹の伐採、彦間川へ流入している大松川の浚渫などを実施し、今年度の補正予算で彦間川の大綱橋上下流の竹の伐採や久保橋下流と飛駒小学校裏の河床の整形等も予定しており、次年度以降も整備を継続していくと聞いています。本市でも、閑馬川へ流入する普通河川、小俣川の浚渫を行う等、栃木県管理の河川の整備と連携を図りながら維持管理を行うとともに、引き続き防災、減災に努めていきます。

その他の質問

☆都市計画マスタープランについて
☆あそ野学園開校に向けての取り組みについて
☆蓬山ログビレッジについて



▲春高橋(閑馬町)下流の竹を伐採した様子



木村 久雄 議員(公明党議員会)

質問方式
一問一答
高齢者支援について

Q 公共交通が不便な地域で、NPO法人や社会福祉協議会等が有償で運行できる制度があるが、本市でもその導入は可能なのか。

A 市民生活部長

公共交通空白地有償運送は、バスやタクシーといった公共交通機関が利用できないと認められた公共交通空白地域において、NPO法人等の団体が運行主体となり、当該地域の住民等に対し運送を行うものです。この制度による運送を行うためには、第1にNPO法人、社会福祉協議会、地元町会等の運行を担う団体の必要であり、その上で、行政や交通事業者等の関係者で組織された運営協議会で合意形成を図り、栃木県に自家用有償旅客運送者としての登録申請を行います。こうした事務手続を整えることができれば、導入は可能であると考えます。

その他の質問

- ☆健康増進対策について
- ☆ゴミの処理について
- ☆教育環境の向上について



小倉 健一 議員

質問方式
一問一答
施設体型小中二貫校と地域の在り方について

Q 佐野市として、教育的な観点から、廃校のあり方についての見解を伺いたい。

A 教育長

閉校には、これまでの学校の歴史や地域の歴史を考えますと、大変大きな痛みを伴うものと推察できます。当該校の歴史と誇りを児童生徒がしっかりと継承できるように、時間をかけて準備をするとともに、新たな学校生活への不安を取り除けるよう、また新しい学校への希望が持てるよう、加配教員の配置を県に要望するなど、児童生徒や地域の皆様の心に寄り添った配慮が必要であると考えています。本市の児童生徒の未来のために、全力で支援することは、市の教育委員会に任せられた責務であると考えています。

その他の質問

- ☆子ども子育て環境について
- ☆ボイ捨てごみについて



鈴木 靖宏 議員(蒼生会)

質問方式
一問一答
市民広場駐車場と地下駐車場及び周辺駐車場の施設の有効利用について

Q 市民広場駐車場の平日の夜間一般開放及び休前日、休日を含む一般開放について、市民広場駐車場にゲート式駐車場機器を導入し、有料化することにより、衛視の巡回の軽減や不法駐車車の排除で駐車場の適正維持管理ができ、庁舎周辺、中心市街地内の各店舗の利用が増え、地域活性化の一助となると考えるが、当局の考え方を伺いたい。

A 総合政策部長

市民広場駐車場については、市民の方から平日夜間の一般開放時間を延長してもらいたいなどの要望もあります。ゲート式駐車場機器の導入や有料化については、長時間駐車場の抑制に効果が期待できると考えています。ゲート式駐車場機器の導入に当たっては、設置する上での課題を踏まえ、市民サービスを十分考慮しながら前向きに検討したいと考えています。

その他の質問

- ☆第77回国民体育大会に向けた各取組について



▲市民広場駐車場



若田部 治彦 議員(公明党議員会)
外国人への情報発信
について

Q 外国人への災害時における避難等の情報提供は重要だと思うが、今後どのような取り組みを行っていくのか。

A また、佐野市ホームページトップページの右側の「Foreign Language」のボタンより、英語、中国語、韓国語等に対応するページへ入っていくが、まずそのページに行けないということが問題であるが、どうか。

総合政策部長

A 外国人の方に対する避難情報の提供については、市のホームページから自動翻訳機能を活用することにより、情報を取得することができまます。また、各避難所には多言語シートを設置し、避難所内の案内等、一定のお知らせの表示を用意しています。

ホームページについては、現在全面的なリニューアルを行っており、早くそうした点も解消していければと思っています。

その他の質問

☆クラウドファンディングの導入について
☆空き家対策について
☆市役所の駐車場・駐輪場について



▲佐野市ホームページ右上の「Foreign Language」のボタン



亀山 春夫 議員(政友会)
遊休農地の解消対策
について

Q 少子高齢化が急速に進み、本市でも65歳以上の高齢者人口比率(高齢化率)は、平成29年度28.9%に達している中、管内農地面積が4,239ヘクタールあり、遊休農地が59ヘクタールで、約1.3%である。耕作放棄地、遊休農地とは、どのような判断基準があるのか。

A 農業委員会事務局長

A 耕作放棄地とは、農林業センサスにおいて、以前耕地であったもので、過去1年以上作物を栽培せず、しかもこの数年の間に再び耕作する考えのない土地とされています。

また、遊休農地とは、農地法において、現に耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地です。その農業上の利用の程度が、その周辺の地域における農地の利用の程度に比し、著しく劣っていると考えられる農地とされています。

その他の質問

☆全国山城サミット
佐野大会後の誘客
拡大について



菅原 達 議員(公明党議員会)
若者のひきこもり
支援の充実について

Q ひきこもりの実態の把握も含め、アウトリーチで支援につなげるためには、説得に回ったり、誘ったりせず、情報提供に徹することが重要であるとともに、そのためには情報の発信拠点の役割を担いつつ、安心感にあふれ前向きに受けとめることができる居場所というのは、必要不可欠であると考えます。本市の居場所の現状と課題を踏まえて伺いたい。

A こども福祉部長

A 本市における、若者のひきこもり支援のための具体的な居場所の実態は把握していません。本市といたしましても、ひきこもりの人が安心して集える居場所の必要性は認識していますので、今後市内で取り組みをしている団体や先進自治体の状況を把握し、研究していきたいと考えています。

その他の質問

☆女性活躍するまちづくりの推進について
☆市営住宅の課題と対応について

※アウトリーチ・・・
英語で手を伸ばすこと。
福祉などの分野において、助けが必要な方に積極的に働きかけ、支援すること。



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)

質問方式
一問一答
インランドポートと出流原
PA周辺総合物流開発整備
推進事業を進める事に
関して

Q 市はインランドポートに加えて、第2段階として出流原PA周辺基本構想図Aゾーンにインランドポートの拡張をしようとしている。先行したインランドポートが市民にとって有益であったのかの検証なしに第2段階を市が進めるとなれば、市民のためにならず、問題ではないか。

A 総合政策部長

出流原PA周辺総合物流開発整備事業方針においては、第1段階として佐野田沼インター産業団地内にインランドポートを整備し、第2段階として出流原PA周辺にインランドポートの拡張にも対応できる物流を中心としながらも、製造業の進出も視野に入れた産業団地の造成を図るとしています。インランドポートの効果をも十分に発揮するためには、施設の拡張が必要であると考えていますが、拡張の位置や時期については、十分な検証を踏まえた上で今後検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆放課後子どもクラブの時間延長について
☆障がい者差別解消推進条例と手話言語条例の制定について



飯田 昌弘 議員(蒼生会)

質問方式
一問一答
持続可能な社会の
継承について

Q 小学校に上がった子どもが、放課後を安心して過ごせる場の確保は、女性の就労を支える上で大変重要な課題である。城北小、天明小の高学年の子どもクラブ入所にはどのような対処されるのか、今後の予定も含め伺いたい。

A こども福祉部長

城北小は学校敷地の一部に隣接する民有地を買収し、今後の需要を考慮して2クラブ分の施設を建設します。今後の予定ですが、今年度に測量、用地取得、実施設計等を行い、平成31年度に建設工事、平成32年度開所に向けて作業を進めていきます。天明小は学校の敷地内に建設することで協議が整い、今後の需要を考慮して3クラブ分の建設を予定しています。今議会に測量や実施設計等に係る費用の補正予算を上程しており、平成31年度内に建築工事を完了し、平成32年度から開所することを予定しています。



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)

質問方式
一問一答
教育行政について

Q 中教審の学校における働き方改革の特別部会が、2021年から1年単位の*変形労働時間制の導入を盛り込んだ長時間労働による疲労を1日1日の中でリフレッシュしていくためには、睡眠時間が大変重要である。この変形労働時間制が導入された場合に、どのような影響が出るかと考えられるか。

A 教育長

教職員の仕事は年間を通じてさまざまな行事等があり、夏休みなど長期休業中も児童生徒は学校に登校しないとはいえず、研修や家庭訪問、教育相談、部活動等を行っていきまして、閑散期がある職業ではありません。本制度の導入については、国も来年度、法改正を考えているようですので、今後の国の動きや情報を注視していきたいと考えています。

その他の質問

☆本庁舎管理について

※変形労働時間制・・・

労働時間を月単位・年単位で調整することで、繁忙期等により勤務時間が増加しても時間外労働としての取扱いを不要とする労働時間制度のこと。

その他の質問
☆水と緑と万葉の地
について
☆佐野市運動公園の
施設について



▲石塚浄水場

Q 各浄水場とも老朽化も進み、安定した水道水の供給には不安がある。小中町地内に新たな浄水場を建てる計画があるとの話も聞いているが、どんな計画なのか伺いたい。

A 水道局長
老朽化が進んでいる石塚浄水場と市の沢浄水場を統合しまして、小中浄水場として整備する計画となっています。整備する場所については、小中町地内にあり自動車教習所跡地を予定しています。現在の進捗状況ですが、統合した場合に必要な施設規模や設計条件の問題点について洗い出しを行い、費用対効果を踏まえた多角的な視点から検討を進めているところです。



田所 良夫 議員(新風)

質問方式
一問一答

安全安心で安定した
水道水の供給について

その他の質問
☆住宅用火災警報器
について
☆ランドセル・カバン
の重さと児童の健
康について



Q 色覚チヨークとは、色の明度、彩度に差をつけたもので、さまざまな色覚特性を持つ方にとって、色の識別がしやすくなっているチヨークである。費用的に通常チヨークと色覚チヨークに差がないということならば、色覚チヨークを使用していない4割の学校に呼びかけ、佐野市の全部の小中学校が色覚チヨークを使用し、色覚多様性に配慮することはできないか。

A 教育長
これまで色覚多様性の児童生徒に配慮し、黒板に文字を書く際は明るく、見やすい白と黄色のチヨークを使用するよう指導して定着を図ってきたところで、す。しかし、議員ご指摘のとおり、今後は財政的な負担も少ないことから、全校に色覚チヨークの導入を進めていきます。



慶野 常夫 議員(政友みらい)

質問方式
一問一答

色覚検診について

平成30年第4回佐野市議会定例会 審議された議案等と結果

12月定例会は12月7日(金)から21日(金)までの15日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は次のとおりです。

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等
報告第19号	市長の専決処分事項報告について【平成30年5月11日に発生した交通事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報 告 一
報告第20号	市長の専決処分事項報告について【平成30年8月24日に発生した交通事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報 告 一
議案第113号	市長の専決処分事項承認について【平成30年度佐野市一般会計補正予算(第4号)】	承 認 賛成全員
議案第114号	市長の専決処分事項承認について【平成30年度佐野市自家用有償バス事業特別会計補正予算(第2号)】	承 認 賛成全員
議案第115号	人権擁護委員候補者の推薦について【栗原哲夫氏の任期満了により後任者に西沢淳子氏を推薦】	推薦同意 賛成全員
議案第116号	佐野市職員の自己啓発等休業に関する条例の改正について【学校教育法の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決 賛成全員

議案番号等	件 名 【内 容】	議決結果等
議案第117号	佐野市長等の給与及び旅費に関する条例及び佐野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について【市長、副市長及び議会の議員の平成30年12月以降に支給する期末手当の支給率を改めるための改正】	原案可決 賛成多数
議案第118号	佐野市職員の給与に関する条例及び佐野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の改正について【給料表、勤勉手当の支給率等を改めるための改正】	原案可決 賛成全員
議案第119号	佐野市税条例の改正について【軽自動車税の非課税の範囲及び課税免除を改め、並びにそれらの特例等を定めるための改正】	原案可決 賛成全員
議案第120号	佐野市手数料条例の改正について【建築基準法の改正に伴い、建築関係手数料を定め、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決 賛成全員
議案第121号	佐野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の改正について【地方税法の改正及び生活保護基準の見直しに伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決 賛成全員
議案第122号	佐野市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の改正について【佐野市西消防署を設置し、及び佐野市消防署の名称等を変更するための改正】	原案可決 賛成全員
議案第123号	土地の処分について【佐野インター産業団地(第2期)の市有地の売払い】	原案可決 賛成全員
議案第124号	佐野市市民活動センターの指定管理者の指定について【佐野市市民活動センターの指定管理者の指定】	原案可決 賛成全員
議案第125号	佐野駅前自転車駐車場の指定管理者の指定について【佐野駅前自転車駐車場の指定管理者の指定】	原案可決 賛成全員
議案第126号	佐野共同高等産業技術学校の指定管理者の指定について【佐野共同高等産業技術学校の指定管理者の指定】	原案可決 賛成全員 (除斥1名)
議案第127号	佐野市あきやま学寮等の指定管理者の指定について【佐野市あきやま学寮、佐野市体験館、佐野市ウッドランド森沢及び佐野市古代生活体験村の指定管理者の指定】	原案可決 賛成全員
議案第128号	佐野市アリーナためま等の指定管理者の指定について【佐野市アリーナためま、佐野市葛生農業者トレーニングセンター、佐野市葛生武道館、佐野市中運動公園、佐野市田沼グリーンスポーツセンター、佐野市田沼総合運動場及び佐野市田沼西運動場の指定管理者の指定】	原案可決 賛成全員
議案第129号	佐野駅前交流プラザの指定管理者の指定について【佐野駅前交流プラザの指定管理者の指定】	原案可決 賛成全員
議案第130号	秋山辺地総合整備計画の策定について【秋山辺地総合整備計画の策定】	原案可決 賛成全員
議案第131号	平成30年度佐野市一般会計補正予算(第5号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ215,363千円を追加並びに繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正】	原案可決 賛成多数
議案第132号	平成30年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ9,805千円を減額】	原案可決 賛成全員
議案第133号	平成30年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,004千円を追加】	原案可決 賛成全員
議案第134号	平成30年度佐野市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ8,869千円を追加】	原案可決 賛成全員
議案第135号	平成30年度佐野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ179千円を減額】	原案可決 賛成全員
議案第136号	平成30年度佐野市自家用有償バス事業特別会計補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ603千円を減額】	原案可決 賛成全員
議案第137号	平成30年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ4,512千円を減額】	原案可決 賛成全員
議案第138号	平成30年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,528千円を追加】	原案可決 賛成全員
議案第139号	平成30年度佐野市西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業特別会計補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ911千円を減額】	原案可決 賛成全員
議案第140号	平成30年度佐野市水道事業会計補正予算(第1号)【収益的収入の予定額に352千円を追加、収益的支出の予定額から8,028千円を減額、資本的支出の予定額から4,019千円を減額など】	原案可決 賛成全員
陳情第 6 号	医療費助成における精神障がい者の適用に関する意見書の提出を求める陳情(詳細は10ページに記載)	採 択 賛成多数
意見書案第3号	医療費助成における精神障がい者の適用に関する意見書について(詳細は10ページに記載)	原案可決 賛成多数

賛否が分かれた議案等

	議決結果	賛成	反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
				慶野常夫	川嶋嘉一	菅原達	木村久雄	横井帝之	早川貴光	小倉健一	金子保利	亀山春夫	小暮博志	本郷淳一	若田部治彦	横田誠	田所良夫	久保貴洋	鈴木靖宏	岡村恵子	鶴見義明	井川克彦	山菅直己	篠原一世	春山敏明	飯田昌弘	高橋功
議案等																											
議案第117号	原案可決 (賛成多数)	20	3	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第126号	原案可決 (賛成全員) (除斥1名)	22	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 除斥	○	○	○	○	○
議案第131号	原案可決 (賛成多数)	20	3	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
陳情第 6 号	採択 (賛成多数)	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議長	○	○	○	×	○
意見書案第3号	原案可決 (賛成多数)	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議長	○	○	○	×	○

※○＝賛成または採択、×＝反対または不採択

※除斥とは、議会における審議の公正を保つために、議案と一定の利害関係を持つ議員が当該議案の審議に参加することができないとする制度です。

※井川克彦議長は、採決に加わりません。

平成31年2月定例会日程(案)

平成31年2月定例会の日程は、2月15日(金)の議会運営委員会で内定し、2月22日(金)の本会議で決定します。※日程は変更になることがあります。

2/11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)	16日(土)	17日(日)
		請願及び陳情の 提出期限(17:00)		13:30 議会運営委員会		
18日(月)	19日(火)	20日(水)	21日(木)	22日(金)	23日(土)	24日(日)
				10:00 本会議 (予算大綱説明、 議案説明)	休会	休会
25日(月)	26日(火)	27日(水)	28日(木)	3/1日(金)	2日(土)	3日(日)
休会	10:00 本会議 (予算大綱質疑、 議案質疑)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)	9日(土)	10日(日)
9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	9:00 予算審査特別委員会	9:00 予算審査特別委員会	休会	休会
11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)	16日(土)	17日(日)
休会	9:00 予算審査特別委員会	9:00 予算審査特別委員会	休会	10:00 本会議 (委員長報告、質疑、 討論、表決)		

※建設常任委員会および経済文教常任委員会は、付託された議案・請願・陳情の件数が6件以下の場合は午前10時に、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

陳情の審査結果

陳情第6号

医療費助成における精神障がい者の適用に関する意見書の提出を求める陳情

▼陳情人

佐野精神保健福祉会 会長 船渡川 政義

▼陳情の要旨

重度の身体障がいや知的障がいの手帳所有者に対して認められている重度心身障がい者医療費助成制度を重度の精神障がい者に対しても同等に認め、栃木県において必要な措置を講ずるよう意見書の提出を求めるものです。

▼審査結果

本陳情は、12月定例会において厚生常任委員会に付託され、審査の結果、賛成多数で採択されました。同定例会本会議においても、賛成多数で採択されました。

意見書案の審査結果

意見書案第3号

医療費助成における精神障がい者の適用に関する意見書について

12月定例会において、(提出者)菅原達議員、(賛成者)横井帝之議員、金子保利議員、小暮博志議員、川嶋嘉一議員により医療費助成における精神障がい者の適用に関する意見書案が提出され、賛成多数により可決されました。意見書は、平成30年12月21日付けで佐野市議会として栃木県知事、栃木県議会議長に提出しました。

医療費助成における精神障がい者の適用に関する意見書

障害者総合支援法では、3障害の制度格差を解消し、共通の制度の下で一元的にサービスを提供することを目指しているにもかかわらず、本県の医療費の助成制度については、精神障がい者が認められていません。

栃木県内の重度心身障害者医療費の助成制度は、①身体障がいの程度が1～2級の方、②知的障がいの程度が知能指数35以下の方、③知的障がいの程度が知能指数50以下で身体障がいの程度が3～4級の障がいと重複している方となっているのが現状です。

精神障がい者は、精神科への定期的な通院と服薬の継続が必要であり、障害者総合支援法に定められた自立支援医療(精神通院)において、一定の医療費負担の軽減が図られているものの、入院の場合には認められておらず、また、長期間に渡る服薬や加齢により、精神科以外の診療科に受診することもあります。特に、重度の精神障がい者にとっては、調子の不安定さにより入退院を繰り返しやすいことから、経済的負担の軽減に取り組む必要があります。

これらを踏まえ、栃木県において、身体障がい者や知的障がい者に認められている重度心身障がい者医療費助成制度に重度の精神障がい者を対象とするために必要な措置を早急に講ずるよう、要望します。以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

各常任委員会 行政視察報告

市政の課題や先進事例の調査を行うため、他自治体への行政視察を実施しました。以下のとおり研修内容を報告します。

総務常任委員会

10月3日(水)～4日(木)

10月3日 宮城県名取市

「コミュニティFM配信事業について」

「なとらじ801」は東日本大震災の復旧情報配信のために開局し、その後、総務省の認可手続きを経て、コミュニティFMとなりました。緊急情報入手のため、自動受信放送機能を備えた防災ラジオを提供する事業について研修しました。

委員の所見

有事の際に現存の防災無線は聞こえにくいなど情報取得の困難さがある中、防災機能を備えたコミュニティラジオの機能価値は高いと思われますが、開設にあたっては市全域への配信、局運営計画など様々な課題を見据え、細やかな検討が必要と感じました。

10月4日 北海道函館市

「地域交流まちづくりセンターについて」

情報発信、市民交流、市民活動支援の3つの機能を有する「地域交流まちづくりセンター」を



委員の所見

移住者に対しても住まわさせるための窓口ではなく、常に寄り添った助言者としての取り組みであることや、登録団体向けに独自の掲示スペースを設けるなど、常に集客を見据え、利用者と向き合い工夫されていることが分かりました。

厚生常任委員会

11月7日(水)～8日(木)

11月7日 宮崎県延岡市

「健康長寿まちづくりについて」

平成22年に発足した市民会議の協議により、「1に運動、2に食事、3にみんなで健診受診」をスローガンとした行動計画が展開され、健康長寿のまちづくり市民運動は、自治会長を健康長寿推進リーダー(386名)に委属し、任意で健康長寿推進員を置いていました。

委員の所見

平均寿命は平成22年男性79.9才女性86.1才から、平成27年男性80.1才女性87.0才と伸びています。この背景には「民・官・産・学」の連携の協働を主体とした街ぐるみの活動(市民会議)があり、その成果といえると思います。

11月8日 宮崎県小林市

「認知症についての取り組みについて」

認知症の人とその家族を地域全体で支える体制を整えるため、認知症サポーターによる高齢者見守り活動を推進する



委員の所見

認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築など多彩な取り組みがなされていきました。地域住民との交流を図り、認知症の方の社会参画となったり、地域住民への理解と情報発信の場となる地域ぐるみの活動となるような地域包括ケアシステムによる地域づくりを行う必要があると感じました。

各常任委員会 行政視察報告

市政の課題や先進事例の調査を行うため、他自治体への行政視察を実施しました。以下のとおり研修内容を報告します。

経済文教常任委員会

10月3日(水)～4日(木)

10月3日 滋賀県近江八幡市
「VR安土城について」

安土城は、近江八幡市西方安土山に約430年前の天正4年(1579年)に織田信長が5層7重の天守を創建した近世本格的城郭でしたが、天正10年(1582年)に本能寺の変で焼失しました。歴史・観光資産として「安土城の歴史」をVRの技術により再現していました。

委員の所見

タブレット型VR安土城と高精度シスター型VR安土城の2種類のシステムを展開し、タブレット型は市内12カ所にビューポイントを設定し、回遊しながら当時の安土城の姿に触れる機会を設けています。山城サミット佐野大会後の観光誘致の取り組みへの参考になりました。

10月4日 石川県小松市
「小・中学校学力向上の取り組みについて」

新学習指導要領から「確かな学力」の育成を目指し、「学力

向上へのアプローチ」を作成し、平成20年度の「全国学力・学習状況調査」石川県基礎学力調査「から見える小松市の児童生徒の状況により、重点指導事項を洗い出して自校の教育課題の解決を図っていました。

委員の所見

新学習指導要領の方向性に従い、主体的な学びとして学ぶことに興味を持たせ、対話的な学びとして子ども同士の協同、教職員や地域の人との対話を通じて、深い学びとして習得・活用・研究という学びの知識を関連付け、教師のコーディネートにより授業の質を上げていました。



建設常任委員会

10月22日(月)～23日(火)

10月22日 滋賀県長浜市
「新庁舎及び黒壁を中心とした市街地活性化について」

長浜市では、黒壁を中心とした市街地活性化として行政と民間が一体となって街並みの整備、そして商店街の振興を展開し、その結果、遠方から沢山の方々が訪れるようになりました。本市においても、市街地の活性化は喫緊の課題であり、今回視察研修を行いました。

委員の所見

本市には佐野プレミアムアウトレット等があり、年間800万人を超える来訪者をいかにまちなかに呼び込むことができるかが課題であり、今後まちなかに呼び込むことができる施策等を考えていくことが必要であると思います。

10月23日 京都府舞鶴市
「まちなかにおける空き家対策、お試し住宅について」

舞鶴市では、移住定住施策として「この街から一度は離れて

も帰って来たいくなるまち、この街に魅かれ移り住みたくなるまち舞鶴」をコンセプトとして、空き家情報バンク制度・お試し住宅整備支援を行っており、本市の移住定住の活動のために研修を行いました。

委員の所見

舞鶴市を知ってもらうための取り組みとして、全国から集まった大学生100人が舞鶴市で地域の方々と交流しながら様々なミッションをクリアする「若者100人会議」を実施するなど、舞鶴市を知ってもらう働きなど素晴らしい取り組みを行っていました。



※VR (ブイアール) …virtual realityの略。コンピュータによって作り出された世界(仮想的な空間)を現実として知覚させる技術のこと。



傍聴者の声



佐野市内の5つの小学校の児童が12月定例会の一般質問を傍聴しました。
寄せられた感想の一部をご紹介します。

市議会議員のみなさんありがとう



天明小学校 6年
とみわ ひめか 妃華さん

「市議会の議場って、こんな場所なんだ。緊張した空気が流れているな。」傍聴席に座り、市議会を傍聴しているときに、一番初めにこう感じました。議員のみなさんは、本当に真剣な表情で話し合っていて、見ている私も緊張してしまいました。

私は市議会を傍聴し、議員さんの発言は説得力があるなと思いました。「だから」「～だが、～」など、根拠が示されていて、私もそのように発言できるようにになりたいと思いました。また、市議会の役割や市議会のしくみ（本会議と委員会があることなど）を教えていただき、市議会について詳しく知ることができました。

今回、市議会を傍聴できたことは、とてもよい経験になりました。佐野市をよりよくするために仕事をしてくださっている議員さんに感謝して生活していきます。

市議会を傍聴して考えたこと



植野小学校 6年
とだ こころ 心彩さん

私は、今日の市議会傍聴を通して、議員のみなさんや市役所の方々が佐野市がもっとよくなる、市民が安心・

安全で楽しく暮らせるようにいろいろな意見を出し合って工夫していることが分かりました。そして、自分の意見をもつことの大切さも分かりました。私にとってとても貴重な体験ができたと思います。

今回は、「市民広場駐車場と地下駐車場及び周辺駐車場施設の有効利用について」という議題を傍聴させていただきました。駐車場の利用台数やデータ管理、事故件数、苦情・トラブルについて、細かなところまで意見を出し合っていました。私は、今までこのように意見を出し合っていることを知らなかった。議員のみなさんや市役所の方々の努力にとっても感動しました。佐野市民の一人でも多くの人々の幸せのため、一生懸命に考え、発表する姿は、私のあこがれになりました。私にできることは何だろう。市民のために頑張ってください。みなさんの姿から、友達に対して思いやりの気持ちを忘れず、自分の意見をしっかりと伝えて伝えられる人になりたいと思いました。そんな私を目指して、これからも頑張っていきたいです。

市議会を見学して考えたこと



犬伏小学校 6年
しまた ひかり 光さん

初めて市議会を見学して、市議会の中には、議員さんなど様々な役割をもつ方がいて、佐野市のために努力をしてくださっているんだなあと感じました。

市議会の役割は、様々な意見を佐野市のために生かしていくことや、予算

を決めたり正しく使われているか確認したりすること、県や国に意見を出すことなどがあると説明していただきました。また、市民の生活や市の発展をいつも一番に考えて、真剣に話し合ってくださいっている姿を見ることができました。議員さんたちは、これからますます佐野市のために色々話し合ってくださいさるのだと思いました。そして、改めて議会の大切さを学ぶことができてよかったです。

市民のことを考える大人



出流原小学校 6年
おはな 尾花 鴻さん

ぼくは初めて市議会を傍聴して、おどろいたことがあります。一つ目は議会の広さです。こんなに広いところで話し合いをしていると思います。二つ目は質問の種類によって、答える人が違うということです。その質問に対して専門的な人がしっかりと答えていていました。三つ目は、発言していない人がみんな静かだということです。クラスの学級会だと、どうしても発言中にざわさわわしてしまうことがあるので、見習いたいです。

ぼくが特に印象に残ったのは、議会の仕事について説明して下さった市役所の方の、「市役所という字は、市の役に立つところだ」という意味だと言葉のとおり、議員さんたちは佐野市のためにがんばっているのだと思います。

ました。ぼくも、これからもっと勉強して市民のことを考える大人になりたいです。

市議会を見学して



山形小学校 6年
うえはら みらい 未来さん

市議会を見学を通して分かったことがたくさんありました。まず、議長さんが全体の進行を管理しているということ、議員さんが発言できる時間は六十分間であることなどです。また、議会後の説明を聞き、知らなかったこともたくさん学ぶことができました。現在、佐野市内には十一万九千九百九十九人、十八才以上の選挙権をもつ人たちが市民の代表となる市議会議員を選挙で決めているということ。また四年に一回選挙があること。一年の間に四回定例会があり、意見を出し合ったり報告し合ったりすることです。また説明の中で私が特にすごいと思ったことは、議員さんは議会がないときには市民の方に活動の様子を報告したり、より優れた議会を見学して勉強したりしているということです。このように常に市民に向き合ったり、学んだりしているからこそ、素晴らしい佐野市が成り立っているのだと思いました。

今回、市議会を見学できたということとはとても貴重な体験だったと思います。これから、学級活動などクラスで話し合う時に参考にしていきたいと思いました。

市内の小学生が一般質問を傍聴しました。

学校における社会科教育の一環として、市政や議会に対する理解と関心を深めることを目的に、次のとおり市内の小学生が一般質問を傍聴しました。
(児童の感想は13ページに掲載しています。)



12月12日	犬伏小学校	70名
	植野小学校	42名
12月13日	山形小学校	14名
	出流原小学校	16名
	植野小学校	40名
12月14日	天明小学校	54名
	植野小学校	40名



今年度佐野市議会で行った主な取り組みを報告します。

- 平成29年度政務活動費の領収書等の市議会ホームページでの公開(6月15日)
- 栃木市議会及び矢板市議会における政務活動費の後払いについての視察研修(6月28日)
- 本市水道局職員による公営企業会計の仕組みなどについての研修会(7月2日)
- 議会報告会(7月5日葛生会場、9日田沼会場、11日佐野会場)
- 各常任委員会による所管事務調査(7月17日～18日)
- 「日本女性会議2019さの」に関する出前講座(9月11日)
- 佐野フットボールチャレンジ事業説明会(9月11日)
- 各常任委員会による所管事務調査(10月29日～30日)
- 株式会社SUBARU スバル実験研究センターでの視察研修(11月5日)
- 佐野市議会から「国土強靱化の推進について」の要望事項を提出し、全国市議会議長会の要望書に盛り込まれました。(11月7日)
- 佐野厚生総合病院視察研修(1月15日)
- 佐野商工会議所との意見交換会(1月23日)
- 9月・12月定例会終了後に議員自ら総括を行い、議会運営委員会協議会で協議



▲所管事務調査の様子



▲厚生病院視察研修の様子

新年号の案内

議会だより新春号は、佐野市議会ホームページでの配信のみです。
全市議会議員の新年の抱負が掲載してありますので、ぜひご覧ください。



佐野市議会だより

検索



12月定例会では、指定管理者の指定についてや平成30年度佐野市一般会計補正予算など、28議案の審議が行われ、可決されました。また、医療費助成における精神障がい者の適用に関する意見書の提出を求める陳情が採択され、意見書を提出しました。新たな元号が5月1日より始まります。活発な一般質問や各常任委員会での審査等を通して、市民生活の安心安全と佐野市のためな発展に向け、議会活動を進めてまいります。お気軽に市議会の傍聴にお越しください。

(亀山記)

編集後記

編集委員会
委員長 川嶋 嘉一
委員 横田 誠
委員 菅原 達
委員 亀山 春夫
委員 久保 貴洋

佐野市議会ホームページにおいて、議会の映像や会議録をご覧になれます。 佐野市議会 議会からこんにちは 2019.2.1 ⑭

佐野市議会事務局
〒327-8501 佐野市高砂町1番地

電話：0283-20-3036 ファックス：0283-21-4411
電子メール：gikai@city.sano.lg.jp